

【理事会・評議員会に関する事項】

第1回理事会

1. 日 時 令和2年6月12日(金) 13時30分～14時30分
2. 場 所 山形グランドホテル 8階「アドリア」(山形市本町1丁目)
3. 理事総数および定足数 理事総数10名 定足数6名

4. 出席者

- | | |
|-----|-----------------------|
| 理 事 | 寒河江 浩二(代表理事) |
| 理 事 | 森 谷 健 |
| 理 事 | 矢 口 俊 雄 |
| 理 事 | 杉 本 肇 |
| 理 事 | 小 澤 成 光 |
| 理 事 | 鈴 木 千 岳 |
| 理 事 | 阿 部 直 美 |
| 理 事 | 大 井 祐 一 |
| 理 事 | 伊 藤 清 隆 |
| 理 事 | 菅 野 滋(業務執行理事・館長)以上10名 |
| 監 事 | 中 山 眞 一 |
| 監 事 | 長 谷 川 憲 治 |
| 顧 問 | 黒 澤 洋 介 |
| 顧 問 | 加 藤 千 明 |
| 顧 問 | 高 橋 邦 芳 |

オブザーバー 富 樫 麗(山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財課主査)

5. 議 事

【報告事項】主な運営事業について

【協議事項】

- 第1号議案 平成31(令和元)年度事業報告および決算(案)の件
- 第2号議案 任期満了にともなう理事選任候補者(案)の件
- 第3号議案 任期満了にともなう顧問選任候補者(案)の件
- 第4号議案 評議員補充選任候補者(案)の件
- 第5号議案 令和2年度定時評議員会開催(案)の件

その他

6. 議事の経過およびその結果

(1) 開会

菅野館長(業務執行理事)より開会宣言があり、寒河江代表理事があいさつに立った。その中で、令和2年度は「出逢い 相田みつを展(当初会期4月3日～5月10日)」で幕をあけたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、4月16日に国の緊急事態宣言が、県からは休業要請が出される事態となり、山形美術館も4月25日から5月10日まで営業を自粛することにした。休業要請があげた5月11日より、当初の会期を大幅に延長して5月27日まで再開し、マスク着用と手指の消毒の徹底、サーモグラフィによる入館時の体表面温度チェック、また、いわゆる3密を避けるための監視体制で対応したことが紹介された。コロナウイルスの影響は

これだけに止まらず、今夏予定されていた大型企画展や県総合美術展、県総合書道展の中止、施設貸与事業も10月まで全てがキャンセルとなったことが報告された。

(2) 議長選出、定足数確認、議事録署名人について

菅野館長より、「議長は定款により代表理事がこれに当たる」との説明があり、寒河江代表理事が議長に就いた。議長より求められた定足数について、長岡事務局長より、理事総数10名中10名全員が出席しており、開催要件の過半数である定足数を充足していること、および監事2名、顧問3名、オブザーバー1名が同席することが報告された。議事録署名人については代表理事と出席監事がこれに当たることを確認し、議案の審議に入った。

【報告事項】

主な運営事業について、長岡事務局長より令和2年度の山形新聞・山形放送をはじめ山形市、山形県、山形県生涯学習文化財団からの補助金の入金状況、運営・管理等に関する事項が報告された。

【協議事項】

第1号議案 平成31(令和元)年度事業報告および決算(案)の件

岡部副館長兼学芸課長よりプロジェクターを使った「平成31(令和元)年度事業」の報告が行われた。夏開催の「国立トレチャコフ美術館所蔵 ロマンティック・ロシア」の入館者が20,853人あったことで、年間入館者数が91,525人となり、前年より19,021人増加したことが紹介された。次に長岡事務局長より令和2年度の「登記・許可に関する事項」、「補助金等に関する事項」、「運営・管理等に関する事項」、また「理事会・評議員会に関する事項」等の説明が行われた。その中で職員が県庁に出向いて行った「出前会員募集」を紹介、1口5,000円の普通会員が対前年で138口増えたことが報告された。続けて鈴木事務局次長より「平成31(令和元)年度決算報告」が行われ、貸借対照表および正味財産増減計算書とその内訳表ならびに財産目録、財務諸表に対する注記、基本財産および特定資産の明細等についての説明があった。特筆すべき点として、経常収益の受取会費と事業収益が大きく伸びたことを挙げた。

引き続き、監事を代表して中山監事より「令和2年5月22日に長谷川監事と行った監査で、事業報告等は法人の状況を正しく示しており、また各計算書類、帳簿類は適正に処理されていることが認められた。」との監査報告があった。

以上審議の後、寒河江議長より第1号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第2号議案 任期満了にともなう理事選任候補者(案)の件

長岡事務局長より、任期満了に伴う理事候補者(案)について、定時評議員会に提案する案件である旨の説明があり、下記の通り示された。

寒河江浩二	株式会社山形新聞社代表取締役社長(再任)
遠藤 健悟	山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財課長(新任)
矢口 俊雄	公益財団法人山形県生涯学習文化財団専務理事(再任)
杉本 肇	山形市企画調整部文化振興課長(再任)
小澤 成光	山形県美術連盟運営委員長(再任)
鈴木 千岳	山形県総合書道展運営委員長(再任)
阿部 直美	山形県写真連盟会長(再任)
佐藤 秀之	株式会社山形新聞社常務取締役(新任)
伊藤 清隆	山形放送株式会社取締役報道制作局長(再任)

菅野 滋 公益財団法人山形美術館館長（再任）

任期は2年。2020年6月の定時評議員会での承認後から2022年（令和4年）6月まで。

以上審議の後、寒河江議長より第2号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 任期満了にともなう顧問選任候補者（案）の件

長岡事務局長より今年度は顧問の改選期であることから、任期満了にともなう顧問選任候補者（案）について示された。

黒澤 洋介（前代表理事）	再任
加藤 千明（元山形美術館館長）	再任
高橋 邦芳（前山形美術館館長）	再任 以上3名

任期は2年。2022年（令和4年）6月まで。

以上審議の後、寒河江議長より第3号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第4号議案 評議員補充選任候補者（案）の件

長岡事務局長より、人事異動等にもない伊藤 浩之評議員、青塚 晃評議員の2名より辞任届が提出されている報告があり、その補充選任候補者（案）として以下の2名が示された。

畑口 和久 山形市企画調整部長
小林 裕明 株式会社山形新聞社取締役編集局長 以上2名

任期は2020（令和2年）年6月の定時評議員会での承認後から、前任者の残任期間となるので2023年（令和5年）6月まで。

以上審議の後、寒河江議長より第4号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第5号議案 令和2年度定時評議員会開催(案)の件

長岡事務局長より本日承認された第1～2号議案、4号議案については評議員会に諮り承認を得る必要があるため、定款に基づき、理事会の議決を経て代表理事が招集する令和2年度定時評議員会開催(案)が下記の通り示された。

『令和2年度定時評議員会開催(案)の件』

- 1.開催日時 令和2年6月29日(月) 午後3時より
- 2.開催場所 山形グランドホテル(山形市本町)
- 3.議事

【協議事項】

第1号議案 平成31（令和元）年度事業報告および決算(案)の件

第2号議案 任期満了にともなう理事選任候補者(案)の件

第3号議案 評議員補充選任候補者(案)の件

その他

以上審議の後、寒河江議長より第5号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

その他

菅野館長より「令和2年度山形美術館事業計画の変更状況」が説明された。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今夏予定していた「ますむらひろし展」や「県総合美術展」、「県総合書道展」が中止、10月までの施設貸与が全てキャンセルとなったことが報告された。また、寒河江代表理事及び菅野館長が山形県知事と山形市長へ新型コロナウイルス対策に係る要

望書を提出したことも報告した。内容は新型コロナウイルス拡大防止に係るもの、収束後をも展望した要望など。なお、知事に対しての要望書は致道博物館、本間美術館、斎藤茂吉記念館との連名にて提出。さらに、エレベーター更新について、具体的な内容を次回理事会で報告したいとの発言があった。意見交換が行われた後、寒河江代表理事より退任理事に対して感謝の言葉があった。

7. 閉会

以上をもって、寒河江議長は全議案の審議を終了した旨を述べ、14時30分に閉会を宣言した。

定時評議員会

1.日 時 令和2年6月29日(月) 午後2時50分～午後3時45分

2.場 所 山形グランドホテル8階「アドリア」(山形市本町1丁目)

3.評議員総数および定足数 現在数 11名 定足数 6名

4.出席者

評議員 長谷川吉茂 (議長)

評議員 大谷駿雄

評議員 高橋剛文

評議員 酒井忠久

評議員 仲野益美

評議員 高橋まゆみ

評議員 板垣正義

評議員 青塚 晃 以上8名

理事 寒河江浩二 (代表理事)

理事 菅野 滋 (業務執行理事)

監事 中山 眞一

監事 長谷川 憲治

オブザーバー 富 樫 麗 (山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財課主査)

杉 本 肇 (山形市企画調整部文化振興課長)

5. 議事

【協議事項】

第1号議案 平成31(令和元)年度事業報告および決算(案)の件

第2号議案 任期満了にともなう理事選任の件

第3号議案 評議員補充選任の件

その他

6. 議事の経過およびその結果

(1) 開会

菅野館長(業務執行理事)より開会宣言があり、寒河江代表理事があいさつに立った。その中で、令和2年度は「出逢い 相田みつを展(当初会期4月3日～5月10日)」で幕をあけたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、4月16日に国の緊急事態宣言が、県からは休業要請が出される事態となり、山形美術館も4月25日から5月10日まで営業を自粛することに

した。休業があけた5月11日より、当初の会期を大幅に延長して5月27日まで再開し、マスク着用と手指の消毒の徹底、サーモグラフィによる入館時の体表面温度チェック、また、いわゆる3密を避けるための監視体制で対応したことが紹介された。コロナウイルスの影響はこれだけに止まらず、今夏予定されていた大型企画展や県総合美術展、県総合書道展の中止、施設貸与事業も10月まで全てがキャンセルとなったことが報告された。

(2) 議長選出、定足数確認、議事録署名人について

菅野館長より、定款にもとづき評議員の中から議長を選出する旨の説明があり、高橋剛文評議員からの推薦発言を受け、長谷川吉茂評議員を議長に選出した。

長谷川議長より求められた定足数については、長岡事務局長より定数11名中8名が出席して、開催要件の過半数である定足数を充足していることが報告された。

また、議事録署名人については、定款にもとづき議長と議長以外の評議員の中から2名を選出することになっており、長谷川議長に一任することを全員が承諾。高橋剛文評議員と板垣正義評議員を指名し、満場一致で承認された。

第1号議案 平成31(令和元)年度事業報告および決算(案)の件

岡部副館長兼学芸課長よりプロジェクターを使った「平成31(令和元)年度事業」の報告が行われた。夏開催の「国立トレチャコフ美術館所蔵 ロマンティック・ロシア」の入館者が20,853人あったことで、年間入館者数が91,525人となり、前年度より19,021人増加したことが紹介された。

次に長岡事務局長より平成31(令和元)年度の「登記・許可に関する事項」、「補助金等に関する事項」、「運営・管理等に関する事項」、また「理事会・評議員会に関する事項」等の説明が行われた。その中で職員が県庁に出向いて行った「出前会員募集」を紹介、1口5,000円の普通会員が対前年で138口増えたことが報告された。

続けて鈴木事務局長より「平成31(令和元)年度決算報告」が行われ、貸借対照表および正味財産増減計算書とその内訳表ならびに財産目録、財務諸表に対する注記、基本財産および特定資産の明細等についての説明があった。特筆すべき点として、経常収益の受取会費と事業収益が大きく伸びたことを挙げた。

引き続き、監事を代表して中山監事より「令和2年5月22日に長谷川監事と行った監査で、事業報告等は法人の状況を正しく示しており、また各計算書類、帳簿類は適正に処理されていることが認められた。」との監査報告があった。

以上、審議の後、長谷川議長は第1号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第2号議案 任期満了にともなう理事選任の件

長岡事務局長より、任期満了に伴う理事選任候補者について、第1回理事会で承認された選任案が次のように示された。

寒河江 浩二	株式会社山形新聞社代表取締役社長(再任)
遠藤 健悟	山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財課長(新任)
矢口 俊雄	公益財団法人山形県生涯学習文化財団専務理事(再任)
杉本 肇	山形市企画調整部文化振興課長(再任)
小澤 成光	山形県美術連盟運営委員長(再任)
鈴木 千岳	山形県総合書道展運営委員長(再任)
阿部 直美	山形県写真連盟会長(再任)

佐藤 秀之 株式会社山形新聞社常務取締役（新任）
伊藤 清隆 山形放送株式会社取締役報道制作局長（再任）
菅野 滋 公益財団法人山形美術館館長（再任）

任期は2年。2020年6月の定時評議員会での承認後から2022年（令和4年）6月まで。

【業務執行理事（常勤）の報酬月額（案）420,000円】

以上審議の後、長谷川議長より一括審議、議決する事を出席評議員全員の同意を得た上、これを諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 評議員補充選任の件

長岡事務局長より、人事異動等にもない伊藤浩之評議員、青塚晃評議員の2名より辞任届が提出されている報告があり、第1回理事会で承認された選任案が次のように示された。

畑口 和久 山形市企画調整部長

小林 裕明 株式会社山形新聞社取締役編集局長 以上2名

任期は2020（令和2年）年6月の定時評議員会での承認後から、前任者の残任期間となるので2023年（令和5年）6月まで。

以上審議の後、長谷川議長より一括審議、議決する事を出席評議員全員の同意を得た上、これを諮ったところ、満場一致で承認された。

その他

菅野館長より「令和2年度の主な運営事項及び事業計画の変更状況」が説明された。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今夏予定していた「ますむらひろし展」や「県総合美術展」、「県総合書道展」が中止、10月までの施設貸与が全てキャンセルとなったことが報告された。

また、寒河江代表理事及び菅野館長が山形県知事と山形市長へ新型コロナウイルス対策に係る要望書を提出したことを報告、内容は新型コロナウイルス拡大防止に係るもの、収束後をも展望した要望など。なお、知事に対しての要望書は致道博物館、本間美術館、斎藤茂吉記念館との連名にて提出。

また、非常放送設備、火災報知設備の更新及び来館者用エレベーターの更新について説明があった。

7. 閉会

長谷川議長は、以上をもって議案全ての審議を終了した旨を述べ、午後3時45分、閉会を宣言した。

第2回理事会

1. 日 時 令和2年6月29日(月)午後3時50分～午後4時5分
2. 場 所 山形グランドホテル 8階「アドリア」(山形市本町1丁目)
3. 理事総数および定足数 現在数10名 定足数6名
4. 出 席 者
理 事 寒河江 浩 二
理 事 遠 藤 健 悟
理 事 杉 本 肇
理 事 小 澤 成 光

理事 鈴木千岳
理事 阿部直美
理事 佐藤秀之
理事 伊藤清隆
理事 菅野 滋 (以上9名)
監事 中山 眞一
監事 長谷川 憲治
顧問 黒澤 洋介
顧問 加藤 千明
顧問 高橋 邦芳

オブザーバー 富 樫 麗 (山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財課主査)

5. 議 事

【報告事項】

定時評議員会における理事選任承認の件

【協議事項】

第1号議案 代表理事選任の件

第2号議案 業務執行理事選任の件

その他

6. 議事の経過およびその結果

(1) 開 会

長岡事務局長より、中山監事、長谷川監事の2名、黒澤顧問、加藤顧問、高橋顧問の3名が同席する旨の説明があり開会した。

(2) 議長選出、定足数確認、議事録署名人について

長岡事務局長より、議長は定款により代表理事がこれに当たるとあるが、第1号議案の審議前であるために空席となっている旨の説明があった。仮議長による議事進行の必要があるため事務局案として阿部直美理事が提案され、これを諮ったところ全員が同意した。

阿部理事が仮議長に就き、定足数については、定数10名中9名が出席して、開催要件の過半数である定足数を充足していることを確認、議事録署名人はこれから選任される代表理事と出席監事がこれに当たることを確認し、議案の審議に入った。

【報告事項】

定時評議員会における理事選任について

長岡事務局長より、第1回理事会で承認された理事選任候補者については令和2年6月29日午後2時50分より開催された定時評議員会で10名全員が承認されたことが報告された。

【協議事項】

第1号議案 代表理事選任の件

長岡事務局長より、代表理事は定款により、理事会の決議によって理事の中から選任する旨の説明があった。説明を受けて、阿部仮議長が意見を募ったところ、小澤成光理事より代表理事に寒河江浩二理事を推薦する発言があった。他の意見が出なかったため、代表理事に寒河江浩二理事を選任する案を諮ったところ、満場一致で承認された。ここで議長が寒河江代表理事に代わり、就任のあいさつの後、議事を続行した。

第2号議案 業務執行理事選任の件

長岡事務局長より、定款により代表理事以外の理事の中から業務執行理事1名を選任する案件であるとの説明があり、寒河江議長が意見を募ったところ、佐藤秀之理事より業務執行理事に菅野滋理事を推薦する発言があった。他の意見が出なかったため、業務執行理事に菅野滋理事を選任する案を諮ったところ、満場一致で承認された。

その他

菅野館長より来館者用エレベーター更新について説明された。

7. 閉会

他の役員からは発言が出なかったため、寒河江議長は以上をもって全議案の審議を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。

第3回理事会

1. 日 時 令和2年12月11日(金)午前11時00分～11時30分
2. 場 所 山形グランドホテル 3階「白鳥」(山形市本町1丁目)
3. 理事総数および定足数 理事総数10名 定足数6名
4. 出 席 者

理 事 寒河江 浩二(代表理事)
理 事 遠 藤 健 悟
理 事 矢 口 俊 雄
理 事 杉 本 肇
理 事 小 澤 成 光
理 事 鈴 木 千 岳
理 事 阿 部 直 美
理 事 佐 藤 秀 之
理 事 伊 藤 清 隆
理 事 菅 野 滋(業務執行理事・館長) 以上10名
監 事 中 山 眞 一
監 事 長 谷 川 憲 治
顧 問 黒 澤 洋 介
顧 問 加 藤 千 明
顧 問 高 橋 邦 芳

オブザーバー 富 樫 麗(山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財課主査)

5. 議 事

【報告事項】運営事業について

【協議事項】

- 第1号議案 令和2年度補正予算(案)の件
第2号議案 令和2年度設備投資の見込み(案)の件
第3号議案 令和3年度山形美術館事業計画(案)の件
その他

6. 議事の経過およびその結果

(1) 開 会

菅野館長（業務執行理事）より開会宣言があり、寒河江代表理事があいさつに立った。寒河江代表理事はその中で、本年度は新型コロナウイルス感染拡大によって、予定された企画展や施設貸与事業がほとんど中止やキャンセルとなった。第3波が懸念されるが、感染予防対策に十分気をつけた上、今後の事業を行っていききたい。一方、施設設備の老朽化については喫緊の課題であり、今年度は県や市の支援をいただき、来館者用エレベーターの更新改修を始めた。新型コロナ対策や利便性が改善されるだろうと述べた。

(2) 議長選出、定足数確認、議事録署名人について

菅野館長より、「議長は定款により代表理事がこれに当たる」との説明があり、寒河江代表理事が議長に就いた。

議長より求められた定足数について、長岡事務局長より、理事総数10名中10名全員が出席しており、開催要件の過半数である定足数を充足していること、および監事2名、顧問3名、オブザーバー1名が同席することが報告された。議事録署名人については代表理事と出席監事がこれに当たることを確認し議案の審議に入った。

【報告事項】

運営事業について

長岡事務局長より、「登記・許可に関する事項」では7月21日に山形地方法務局に役員変更にとともなう登記を完了、同月29日に県への電子届出を行ったことが報告された。次に「補助金に関する事項」では、山形新聞・山形放送、山形市、山形県、県生涯学習文化財団から運営寄付金、運営補助金、事業共催負担金、助成金の交付実績が紹介された。また、今年度は新型コロナウイルス感染予防対策などで特別な支援・助成・給付金があったことが報告された。「運営・管理等に関する事項」では、今年度開催された企画展の紹介やコロナ対策事業なども報告された。

【協議事項】

第1号議案 令和2年度補正予算（案）の件

第2号議案 令和2年度設備投資の見込み（案）の件

菅野館長より「第1号議案令和2年度補正予算（案）の件」及び関連して「第2号議案令和2年度設備投資の見込み（案）の件」の説明があった。

菅野館長は、まず第2号議案から話を進め「山形美術館では施設設備の老朽化について、一昨年より具体的に検討を進めており、併せて、山形県・山形市にも状況説明と相談を行ってきた。その中で防災関係設備の体表面温度発熱監視装置（サ-モグラフィ）及び来館者用エレベーターについては、機会をとらえ積極的に補助申請などを行った結果、国・山形県・山形市から支援を受けることができた。一方、今期の経営はコロナ禍で厳しい状況ではあるが、一昨年度に比べると大きく改善してきており、いずれも必要不可欠な施設設備のため、国・県・市の補助を活用し有利な形で対応することにした。設備投資額の合計は、2,913万5,920円。その財源内訳は、山形県補助833万円、山形市補助748万9千円、国庫補助544万8千円、そして自己負担が786万8,920円」と報告した。

また、令和2年度補正予算については、新型コロナウイルスの影響による事業内容の変更や施設整備などのものであり、経常増減額は1,042万2,520円で、減価償却費を除く実質上の

収支は+1,924万7,480円で、いずれも当初予算に対して1,803万5,550円の増となる。当期一般正味財産増減額は1,042万2,520円、期末残高は8億1,996万603円となり、指定正味財産期末残高11億2,403万5,000円を合わせた正味財産期末残高は19億4,399万5,603円となることを報告した。

以上審議の後、寒河江議長より第1号及び第2号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 令和3年度山形美術館事業計画(案)の件

岡部副館長・学芸課長より「令和3年度山形美術館事業計画(案)」について、4月～5月にかけて「木梨憲武展 TIMING 瞬間の光り」を、7月～8月にかけて「令和3年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館コレクションによる 山形で考える西洋美術史(仮称)」を開催する予定であること、また令和3年度は県美展をはじめとする3県展や収蔵品によるテーマ展などを開催するとの説明があった。

以上審議の後、寒河江議長より第3号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

その他

役員、事務局から発言はなかった。

7. 閉会

以上をもって、寒河江議長は全議案の審議を終了した旨を述べ、午前11時30分に閉会を宣言した。

第4回理事会

1. 日 時 令和3年3月4日(木) 午前11時00分～11時36分
 2. 場 所 山形グランドホテル 8階「アドリア」(山形市本町1丁目)
 3. 理事総数および定足数 理事総数10名 定足数6名
 4. 出 席 者
 - 理 事 寒河江 浩二(代表理事)
 - 理 事 遠 藤 健 悟
 - 理 事 矢 口 俊 雄
 - 理 事 杉 本 肇
 - 理 事 小 澤 成 光
 - 理 事 鈴 木 千 岳
 - 理 事 阿 部 直 美
 - 理 事 佐 藤 秀 之
 - 理 事 伊 藤 清 隆
 - 理 事 菅 野 滋(業務執行理事・館長) 以上10名
 - 監 事 中 山 眞 一
 - 監 事 長 谷 川 憲 治
 - 顧 問 黒 澤 洋 介
 - 顧 問 加 藤 千 明
 - 顧 問 高 橋 邦 芳
- オブザーバー 富 樫 麗(山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財課主査)

5. 議 事

【報告事項】 運営事業について 前回理事会(令和2年12月11日)以降

第1号議案 令和3年度事業計画(案)の件

第2号議案 令和3年度予算(案)の件

第3号議案 令和3年度資金調達及び設備投資の見込み(案)の件

その他

6. 議事の経過およびその結果

(1) 開 会

菅野館長(業務執行理事)より開会宣言があり、寒河江代表理事があいさつに立った。寒河江代表理事はその中で、今年度は「出逢い-相田みつを展」でスタートしたが、その直後に新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が発出され休館に追い込まれた。「みつを展」は会期を延長して対応したものの、その後に予定された企画展や施設貸与事業がほとんど中止やキャンセルとなった。

一方、そうした中でも県、市などの支援をいただき、来館者客用エレベーターの更新などを行い、利用者に喜ばれていると述べた。

(2) 議長選出、定足数確認、議事録署名人について

菅野館長より、「議長は定款により代表理事がこれに当たる」との説明があり、寒河江代表理事が議長に就いた。

議長より求められた定足数について、長岡事務局長より、理事総数10名中10名全員が出席しており、開催要件の過半数である定足数を充足していること、および監事2名、顧問3名、オブザーバー1名が同席することが報告された。議事録署名人については代表理事と出席監事がこれに当たることを確認し議案の審議に入った。

【報告事項】

運営事業について

長岡事務局長より、「運営事業について」が報告され、「補助金に関する事項」では、山形新聞・山形放送(3,520万円)、山形市(3,000万円)、山形県(2,175万円)、県生涯学習文化財団(625万円)から運営寄付金、運営補助金、事業共催負担金、助成金の交付実績が紹介された。また、今年度は新型コロナウイルス感染予防対策などで特別な支援・助成・給付金があったことが報告され、サーモグラフィ代金220万円の内、1/29に山形県より110万円、2/19に文化庁より110万円が、来客用エレベーター更新費20,349,000円の1/3にあたる6,783,000円が2/19に山形県から、3/4に山形市からそれぞれが入金された。「運営・管理等に関する事項」では、今年度開催された企画展の紹介やコロナ対策事業なども報告された。

【協議事項】

第1号議案 令和3年度事業計画(案)の件

岡部副館長より令和3年度の事業計画案が説明された。主な企画展は春の「木梨憲武展 TIMING 瞬間の光り」、夏の「国立西洋美術館コレクションによる 山形で考える西洋美術」、秋の「山形現代作家展」、冬の「最上三十三観音御開帳記念 霊地やまがた」。また、「山形総合美術展」など3県展の開催、収蔵品によるテーマ展の拡充の説明があった。

以上審議の後、寒河江議長より第1号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第2号議案 令和3年度予算(案)の件

第3号議案 令和3年度資金調達及び設備投資の見込み(案)の件

菅野館長より令和3年度正味財産増減予算案の説明があった。当期の経常収益計は1億4,432万3,600円、経常費用計は1億7,531万4,670円となり、当期経常増減額は3,099万1,070円、減価償却費を除いた収支は132万1,070円となる。来年度は、当期一般正味財産増減額3,099万1,070円となり、正味財産期末残高は19億2,342万7,053円になると説明した。また、令和3年度の資金調達及び設備投資については、予定していない旨の説明があった

以上審議の後、寒河江議長より第2号及び第3号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

その他

菅野館長より、加藤顧問から「退任届け」が提出されていることが報告された。加藤顧問は退任にあたって、山形美術館で館長を務められたころの楽しかった思い出を語った後、「山形美術館の今後ますますの発展を祈念する」と結んだ。寒河江代表理事よりこれまでの感謝の言葉があり、記念品が贈呈された。

その他、役員、事務局から発言はなかった。

7. 閉会

以上をもって、寒河江議長は全議案の審議を終了した旨を述べ、午前11時36分に閉会を宣言した。

令和2年度 運営事業について

【登記・許可に関する事項】

月 日	曜	内 容
7月21日	火	山形地方法務局へ役員変更にもなう登記を完了。同月29日に県に変更を電子届出した。

【補助金等に関する事項】

月 日	曜	内 容
4月1日	水	令和2年度国宝重要文化財等防火施設整備費補助金交付決定。(4/1付 文化庁、山形県、山形市より)
4月15日	水	山形放送より令和2年度の運営寄付金440万円を受領した。(1回目)
5月15日	金	山形新聞社より令和2年度の運営寄付金440万円を受領した。(1回目)
5月19日	火	山形県より令和2年度山形県 <u>緊急経営改善支援金</u> 200,000円を受領した。(休業要請)
5月25日	月	山形県文化芸術交流発信事業実行委員会より令和元年度の共催負担金4,838,216円を受領した。
5月29日	金	山形県より令和2年度山形県博物館事業共催負担金360万円を受領した。(1回目)
6月4日	木	山形市より令和2年度山形美術館運営費補助金1,000万円を受領した。(1回目)
6月18日	木	山形県より令和2年度山形県博物館事業共催負担金600万円を受領した。(2回目)
7月10日	金	職業安定所より <u>雇用調整助成金</u> 50,202円(4月分)を受領した。
7月15日	水	山形放送より令和2年度の運営寄付金440万円を受領した。(2回目)
7月20日	月	職業安定所より <u>雇用調整助成金</u> 134,573円(5月分)を受領した。
7月21日	火	山形県生涯学習文化財団より令和2年度文化団体等連携支援助成金312万5千円を受領した。(1回目)
8月13日	木	山形新聞社より令和2年度の運営寄付金440万円を受領した。(2回目)
8月28日	金	山形県より令和2年度山形県博物館事業共催負担金440万円を受領した。(3回目)
9月3日	木	山形市より令和2年度山形美術館運営費補助金1,000万円を受領した。(2回目)
10月8日	木	経済産業省中小企業庁より <u>持続化給付金</u> 1,070,275円を受領した(収益部門)。
10月12日	月	山形県生涯学習文化財団より令和2年度文化団体等連携支援助成金210万円を受領した。(2回目)
10月15日	木	山形放送より令和2年度の運営寄付金440万円を受領した。(3回目)
11月13日	金	山形新聞社より令和2年度の運営寄付金440万円を受領した。(3回目)
11月16日	月	山形県より令和2年度山形県博物館事業共催負担金140万円を受領した。(4回目)

12月3日	木	山形市より令和2年度山形美術館運営費補助金1,000万円を受領した。(3回目)
12月17日	木	山形県より令和2年度山形県博物館事業共催負担金440万円を受領した。(5回目)
1月9日	金	山形県生涯学習文化財団より令和2年度文化団体等連携支援助成金1,020,5000円を受領した。(3回目)
1月15日	金	山形放送より令和2年度の運営寄付金440万円を受領した。(4回目)
1月29日	金	山形県より文化施設感染症予防対策事業費補助金110万円(サーモグラフィー)を受領した。
2月15日	月	山形新聞社より令和2年度の運営寄付金440万円を受領した。(4回目)
2月19日	金	山形県より令和2年度山形県博物館事業共催負担金195万円を受領した。(6回目)
2月19日	金	山形県より感染予防対策支援補助金(エレベーター) 6,783,000円を受領した。
3月1日	月	文化庁より文化施設感染症予防対策事業費補助金110万円(サーモグラフィー)を受領。
3月4日	木	山形市より感染予防対策支援補助金(エレベーター) 6,783,000円を受領。

【運営・管理等に関する事項】

月 日	曜	内 容
4月3日	金	山形新聞・山形放送8大事業「出逢い 相田みつを展」オープン。～5月10日まで。
4月25日	土	新型コロナによる緊急事態宣言にともない、山形県からの休業要請を受け4/25～5/10まで休館。
5月11日	月	休業終了後、相田みつを展の会期を延長して再開。～27日まで。
5月22日	金	中山眞一氏、長谷川憲治氏 両監事による令和元年度の監査が行われた。
5月22日	金	山形県及び山形市に対して、新型コロナウイルス感染症対策に係る要望活動を実施。(代表理事、館長)
6月4日	木	吉野石膏コレクション「フランス近代絵画の精華 印象派の輝き」、長谷川コレクション「パート1」オープン。～7月19日まで。
6月12日	金	山形美術館第1回理事会開催。山形グランドホテル。
7月20日	月	非常放送設備更新工事(～21日)※同設備、火災報知設備については4月1日付で補助金交付決定通知あり。それぞれ、文化庁(434万8千円)、山形県(44万7千円)、山形市(70万6千円)。
7月22日	水	吉野石膏コレクション「フォーヴから戦後の具象まで」、長谷川コレクション「パート2」オープン。～8月30日まで。
7月29日	水	山形美術館定時評議員会、第2回理事会開催。山形グランドホテル。
8月8日	土	やまがたの文化施設応援キャンペーン(山形県)参加。～2021年3月21日まで、一般入館料250円引きなどの特典。

8月12日	水	文化庁よりサーモグラフィ設置用の文化芸術振興費(文化施設の感染症防止対策事業)補助金(110万円)の交付決定通知あり。
8月28日	金	山形市より来館者用エレベーター更新用の山形美術館感染症予防対策支援補助金(678万3千円)の交付決定通知あり。
9月1日	火	吉野石膏コレクション「エコール・ド・パリ」、長谷川コレクション「パート3」オープン。～10月1日まで。
9月2日	水	山形県より来館者用エレベーター更新用の山形美術館感染症予防対策支援補助金(678万3千円)の交付決定通知あり。
9月3日	木	山形県よりサーモグラフィ設置用の山形県文化施設感染症予防対策事業費補助金(110万円)の交付決定通知あり。
9月10日	木	文化芸術の秋キャンペーン(山形県)参加。～11月29日まで、県外客にも250円引きなどの特典適用。
9月23日	水	サーモグラフィ設置工事。
10月5日	月	火災報知設備更新工事。～7日まで。
10月9日	金	吉野石膏コレクション「BEST30」、長谷川コレクション。～11月29日まで。
10月9日	金	企画展「やま・かわ・やまがた」オープン。～11月1日まで。
11月2日	月	山形市消防本部による消防検査実施(火災報知設備)。
11月17日	火	企画展「描く女性たち」～12月6日まで。
11月30日	月	非常放送設備スピーカー増設工事。～12月14日まで。
12月7日	月	来館者用エレベーター更新工事。～2021年1月11日まで。
12月10日	木	企画展「山形 美の鉱脈 明治から令和へ」オープン。～2021年1月31日まで。
1月20日	木	消防訓練(新設備で初めての訓練)。
2月13日	土	山形県写真展審査(審査員:鈴木一雄氏)。～14日まで。
2月25日	木	第55回山形県写真展オープン。～3月21日まで。
3月15日	月	文化庁調査官による火災報知・非常放送設備の現地検査が行われた(コロナの影響で山形県が代理実施)。

【令和2年度 維持会員入会状況】

令和2年4月1日～令和3年3月31日

単位：口

	令和2年度	令和元年度	増減	備考
法人会員	69	73	-4	年間一口5万円 (特典：1口につき優待券10枚)
特別会員	15	17	-2	年間一口7千円 (特典：同伴者3名入館可)
普通会員	388	668	-280	年間一口5千円 (特典：同伴者1名入館可)

学生会員 1名 (高校 年間一口2千円)

キャンパスメンバーズ制度加入校 9校 (前年 14校)

山形大学

東北芸術工科大学

山形県立米沢栄養大学

山形県立米沢女子短期大学

放送大学山形学習センター

山形デザイン専門学校

山形厚生看護学校

山形市立病院済生館高等看護学院

篠田看護専門学校